

【社会・小5・「情報を生かす産業」】①

単元の目標

- (知識及び技能) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめている。
- (思、判、表等) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。
- (学びに向かう力等) 我が国の産業と情報との関わりについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

ICT活用のポイント

- | | | |
|---------------|--------------|--------------------|
| 児童の「入力作業の効率化」 | 児童の「考えの可視化」 | 児童や教師の「考えの共有のしやすさ」 |
| 児童同士の「よさの気づき」 | 教師の「指名のしやすさ」 | 児童や教師の「考えの蓄積」 |

【つかむ】

- ・本時の学習のめあてをつかむ。

【追究する】

- ・コンビニの情報通信技術を紹介した他産業との連携を捉える。
- ・コンビニサービスの広がりや生活の向上について考える。

【まとめる】

- ・めあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。

事例の概要

- コンビニは、情報通信技術を活用して、どのような産業とつながり、どのようなサービスを提供しているのかを調べることによって、他産業との連携や広がりを捉えたり、人々の生活の利便性の向上について考えたりすることができる。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 他産業との連携や広がりを捉える場面で、一人一台端末や大型モニターを使い、課題に対するグループの考えを、思考ツール画面に協働で書き込み、整理する。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 人々の生活の利便性を考える場面で、一人一台端末や大型モニターを使い、各グループの考えを共有する。

【事例におけるICT活用の場面③】

- 振り返りの場面で、一人一台端末を使い、考えを共有するとともに、データを蓄積する。

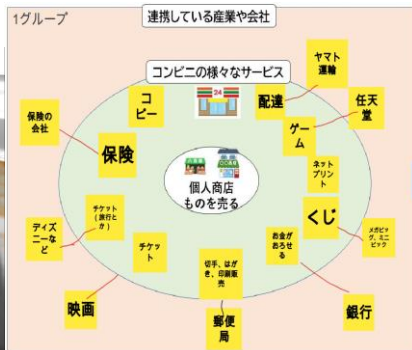
【社会・小5・「情報を生かす産業」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

思考ツール画面に協働で書き込み、整理する。



コンビニのサービスがどの企業とつながっているか、まとめてみよう。



みんなで書き込むと作業が早く進むね。こうやってまとめると、他企業とのつながりや広がりがわかりやすいね。

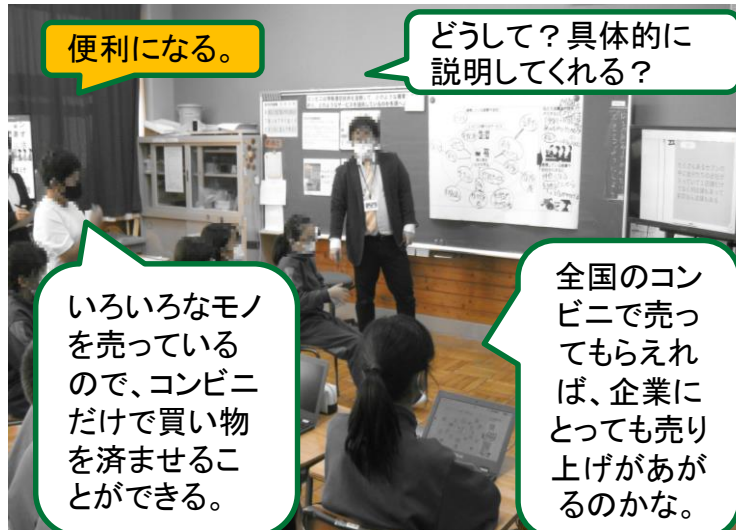
ICT端末を使い、思考ツール画面に協働で考えを書き込むことによって、効率よく入力作業を行うことができ、コンビニサービスと他の企業との連携や広がりを可視化することができた。

【事例におけるICT活用の場面②】

グループの考えを「ICT端末」「大型モニター」で共有。



コンビニのサービスの広がりによって、私たちの生活がどのように向上するのでしょうか。



いろいろなモノを売っているので、コンビニだけで買い物を済ませることができる。

全国のコンビニで売ってもらえれば、企業にとっても売り上げがあがるのかな。

ICT端末を使い、考えを共有したことで、教師も児童も周りの友達の考えを把握したり、比較したりしやすくなった。さらに、友達に聞いてみたいことを質問し、考えを深められるようになった。

【事例におけるICT活用の場面③】

「振り返り」の共有と蓄積



今日はめあてを達成できたかな。また、どうやって解決できたのでしょうか。単元のめあては、解決できそうですか。

今日のめあては解決できた。



あっ、確かに友達と一緒に作業すると、時間が短縮できるね。

次の学習で、単元のめあてが解決できそうだな。

ICT端末で、「振り返り」を共有したことで友達同士のよさに気付いたり、自分の考えを蓄積し、単元のめあてに沿った学習を進めたりすることができた。